

平成26年11月30日

なかま

手もつなごう

第123号

発行所 岡山市中区古京町1-1-17

公益社団法人岡山県栄養士会

電話 086-273-6610

FAX 086-273-6667

HPアドレス

<http://okayama-eiyo.or.jp/>

E-mail

jimu@okayama-eiyo.or.jp

編集 なかま編集委員会

30周年記念事業委員会

印刷 西尾総合印刷㈱

(公社)岡山県栄養士会 法人設立30周年記念号



記念式典



記念講演



みんなで野菜ダンス



目 次

法人設立30周年を迎えて （公社）岡山県栄養士会長 森 恵子	1
岡山県栄養士会法人設立30周年 祝辞 （公社）日本栄養士会代表理事会長 小松 龍史	1
祝 辞	2
公益社団法人岡山県栄養士会のあゆみ	8
公益社団法人岡山県栄養士会法人設立30周年記念大会 （平成26年11月15日開催）	22
記念講演	
記念式典	
祝賀会	
法人設立30周年記念事業	25
なかまの声「協議会活動を振りかえって」	26
受賞歴	28
事務局だより	30
30周年記念事業を終了して	31
編集後記	





法人設立30周年を迎えて

(公社)岡山県栄養士会長 森 恵子

昭和59年に社団法人になって、既に30年が過ぎました。こうして30周年の祝賀を執り行えるのも福田道子会長、前田民子会長のお二人とその活動を支えられた多くの先輩会員のご努力と現在の栄養士会の活動を支えてくださっている会員、賛助会員の方々、そして私たちを応援してくださっている多くの皆様に支えられての30年だと深く感謝を申し上げます。

今、岡山県栄養士会は、平成24年に公益社団法人の認可を受け、定款にそって『すべての人々の「自己実現をめざし、健やかによりよく生きる」とのニーズに応え、保健、医療、福祉及び教育等の分野において、専門職業人としての倫理と科学的かつ高度な技術に裏づけられた食と栄養の指導を通して公衆衛生の向上に寄与することを目的』に活動を進めております。

「栄養士」のイメージは「給食を作る人」とか「何を食べるか、こと細かくうるさく言う人」などから、「食のことを相談したらなんだかとっても安心できる人」、「食や健康づくりのことを何でも相談できる人」と変わっています。

さらに県民の生涯にわたる食と健康づくりの心強い伴侶となる管理栄養士・栄養士になるために生涯教育の徹底といつでも、どこでも手軽により高い質の栄養の指導を受けることができる「栄養ケア・ステーション」事業の充実を中心に活動を進めていこうと考えています。

できないという勝手な思い込みが心と行動を委縮させることもあります。私たちは、できる管理栄養士・栄養士です。また、自分のためではなく、誰かのためにという行動が、地域の皆さんに安心を感じてもらえることにつながります。私たちは、自信を持って人々の生涯にわたる健康を食から支えていくための行動をとることで自分の殻を破り、無限の力を発揮できるものと確信しております。

会員一人一人が次の40周年、50周年に向かって輝いていきましょう。



岡山県栄養士会法人設立30周年 祝辞

(公社)日本栄養士会代表理事会長 小松 龍史

岡山県栄養士会法人設立30周年誠におめでとうございます。これは、歴代の会長様、また役員の皆様のご尽力、会員の皆様の日々の活動が集大成された結果だと思えます。

現在、日本栄養士会では、「管理栄養士・栄養士の将来像」を検討しており、この実現に向けた活動を展開しております。ここでは、最初に「1. 栄養とは？ 2. 栄養士・管理栄養士の固有業務とは？ 3. 栄養の指導とは？ 4. 専門職とは？」等の定義を確認し、理論を構築し、栄養士・管理栄養士のすべてが、実質的にその理論に基づき業務を担うことにより、世論の賛同（社会の理解）を得て、社会において身近で、期待される専門職としての姿を実現することを目指しております。

すなわち、私たち管理栄養士・栄養士は【人々に身近な「栄養の指導」の専門職として、国民の期待に応え、公衆衛生の向上に寄与する】という姿を具現化するための活動を展開しています。

そのために、平成26年度からスタートした新しい「生涯教育制度」では、管理栄養士・栄養士に共通の到達目標としての「ミニマムスタンダード」を提示するとともに、それぞれの職域、専門領域における、特有のスキルの到達目標を設定いたしました。自らの業務の遂行にあたり、対象者や国民の皆様に対して、栄養の専門職として常に最新の技術・学術の保持に努める責務があるからです。岡山県栄養士会には、日本栄養士会の森恵子副会長、寺本房子人材育成事業部長がいらっしゃいます。お二人には、この生涯教育の計画と推進を担っていただいております。是非、すべての会員の皆様が新しい生涯教育に参加し、将来像実現に向けたスタートを切ろうではありませんか。

日本栄養士会では今後、これまでに無い、いろいろな手段を用いて、新しい情報や重要な情報を皆様に提供していきます。岡山県栄養士会の皆様、共に将来を語り、切磋琢磨し、公益のために成長していく専門職集団を目指すためにご協力お願いいたします。

祝 辞



岡山県知事 伊原本隆太

公益社団法人岡山県栄養士会が法人設立30周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。貴会におかれましては、昭和59年に社団法人として設立されて以来、全国に先駆け、在宅で療養されている方や介護を受けている方を対象に、自宅訪問による栄養・食生活支援を実施するなど常に社会ニーズに応じた活動を推進してられました。また、会員各位におかれましても、研修会や調査研究に熱心に取り組まれるなど一人ひとりが自己研鑽を重ね、それぞれの職場や地域で積極的に活動され、県民の健康増進に多大なご貢献をいただいております。深く敬意を表します。本県では、県民の健康づくりを支援するための行動計画である「第2次健康おかやま21」において、健康寿命の延伸を目標に掲げ、県民や関係機関・関係団体の皆様との連携のもと県民の健康づくりに取り組んでおりますが、貴会にも積極的なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今後とも、皆様方には専門的な立場から、県民の健康づくりにより一層ご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴会のますますのご発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたします。



岡山県教育委員会教育長 竹井 千庫

公益社団法人岡山県栄養士会が法人設立30周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。また、貴会はその設立以来、栄養に関する普及啓発などの事業を通して、県民のライフステージに応じた健康増進、疾病予防のための食生活の改善と会員の皆様の資質向上を図られておりますことに、深く敬意を表します。本県では、「心豊かに たくましく 未来を拓く 岡山の人づくり」を基本目標に、知・徳・体を兼ね備えた子どもたちの育成に向け取り組んでいるところですが、そのためには食を通じた子どもたちの健康・体力の増進が極めて重要であります。こうしたことから、県教委では、「食育の推進」を掲げ、教育活動全体を通じた食に関する指導を進めるため、平成18年度から新たに配置した栄養教諭を113人に拡充し、子どもたちの望ましい食習慣の定着や地産地消などに取り組んでいるところであります。貴会の皆様におかれましても、子どもたちの健やかな体の育成に向け、今後とも食を通じた健康づくりの専門家として、より一層、御支援・御協力を賜りますようよろしくお願いします。最後に貴会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げて、御挨拶いたします。



岡山県議会議長 小田 圭一

岡山県栄養士会が法人設立30周年を迎えられましたことは、誠におめでたく、心からお慶び申し上げます。また、栄養士会の皆様には、栄養と食生活の改善を通して県民の健康増進に多大な貢献をなされてきており、そのたゆまぬご尽力に対しまして深甚なる敬意を表する次第であります。さて、我が国は過去に例のない超高齢社会となりましたが、一人ひとりの生命を大切に、安心して暮らせる社会の実現はますます重要となっております。その基本は健康であり、その礎となるのが日々の食事であり、栄養であります。現在、医療、介護、福祉など幅広い分野において、より高度な専門的知識と技能を有する管理栄養士・栄養士が求められており、栄養士会の果たす責務は大きく、重要なものとなっております。今後も、地域における県民の健康づくりの推進に、より一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。終わりに、岡山県栄養士会の今後ますますのご発展と、皆様のご活躍を心から祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



岡山市長 大森 雅夫

このたび、公益社団法人岡山県栄養士会が法人設立30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。岡山県栄養士会におかれましては、昭和45年の設立から、昭和59年の法人化を経て半世紀近くにわたり、すべての人々の「自己実現をめざし健やかによりよく生きる」というニーズに応えるため、保健、医療、福祉並びに教育等、幅広い分野において、食と栄養の指導を通じた公衆衛生の向上に多大なご貢献をいただいているところであり、皆様方の熱意とご尽力に対し、改めて深く敬意と感謝の意を表する次第です。さて、近年、健康や食に対する国民の関心が高まる一方で、食習慣の変化や運動不足等に起因する生活習慣病の増加、さらには、食品の安全への不安の高まり、食品ロスの問題など、食にまつわるさまざまな問題が生じております。こうした中、岡山市では、政令指定都市にふさわしい魅力と活力あふれるまちの実現をめざす中で、「健康市民おかやま21（第2次）」や「岡山市食育推進計画（第2次）」に基づき、市民の「食」に関する知識と選択する力の育成とともに、「すべての市民が健康で、心豊かに生きられるまち」の実現に向けて、地域での推進体制の整備や、ネットワークづくりなどに取り組んでおります。こうした取組を実りあるものとするためには、それぞれの職場や地域において、食と栄養の専門家として日々多彩な活動を展開されている皆様方のお力が欠かせないものであり、今後とも市民の主体的な健康づくりに向けて、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。終わりに、岡山県栄養士会のさらなるご発展並びに関係の皆様方のますますのご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。



岡山県市長会長 玉野市長 黒田 晋

岡山県栄養士会が、このたび法人設立30周年という意義深い節目を迎えられましたことを、岡山県市長会を代表いたしまして心からお慶び申し上げます。貴会が昭和59年に法人を設立されてから30年間、県民の栄養の確保や改善、栄養啓発活動などの事業を通じ、食生活の改善と管理栄養士・栄養士の資質の向上に大いに寄与されてこられましたそのご功績と皆様方のご熱意に対しまして、改めて敬意と感謝の意を表する次第であります。さて、少子・高齢化の進展に伴う人口減少社会の到来、生活習慣に起因する疾病構造の変化など、地域保健をとりまく状況は健康面にも大きな課題を投げかけております。このような中、管理栄養士・栄養士の皆様は、それぞれの地域での栄養指導、さらには子どもたちが健やかに心豊かに暮らせる社会づくりのための食育の推進など積極的な取り組みをいただいているところでございますが、その役割はますます重要になるものと考えております。今後とも、私ども行政と皆様方が連携連絡を密にし、県民一人ひとりが健康で充実した豊かな生活が過ごせるよう、皆様方のさらなるご尽力をお願い申し上げます。最後になりましたが、この記念誌の発刊を契機として、貴会と会員皆様方のさらなるご発展を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



岡山県町村長会長 久米南町長 河島 建一

このたび岡山県栄養士会が法人設立30周年を迎えられることを、心からお慶び申し上げます。また、栄養士の皆様方におかれましては、長年に亘り地域住民の健康の保持と増進のために、献身的な御活躍を賜っておりますことに対し、心から感謝申し上げます。さて、現在、私どもを取り巻く生活環境は、個人の価値観、生活様式の多様化等大きく変化してきており、この生活環境の変化とともに、生活習慣病や要介護者、若い女性のやせ願望等、健康課題は複雑・多様化してきております。このような状況の中、私ども町村長は、住民が健康で豊かさを実感できる、活力ある地域社会を築くため、日夜、奮闘しているところでございますが、そのような活力ある地域社会を築く、その基本が健康であり、その礎となるものが食事であり、栄養でございます。そのような健康の礎となる食事については、栄養のバランスをとりながら、それぞれの年代に応じて、健全な食生活を実践していくことが何よりも大切です。そして、その成果をあげるためには、皆様方のきめ細かな活動による御協力が不可欠であります。どうか皆様方には、地域住民の健康づくりのため、今後一層の御活躍を賜りますようお願い申し上げますとともに、栄養士会の一層の御発展を祈念いたしまして私のお祝いの言葉といたします。



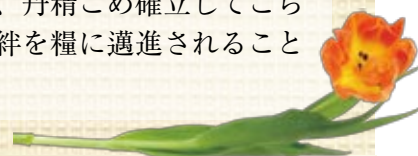
(公社)岡山県医師会長 石川 紘

岡山県栄養士会設立30周年、誠にお目出とう御座います。われわれ医療界では高齢化の進展に伴い糖尿病、メタボリック症候群やCKD（慢性腎臓病）等、生活習慣病に関する医療・介護の充実が喫緊の課題であり続けています。県は糖尿病等4疾患について医療連携体制を構築し、効率よく質の高い医療の提供に努めていますが、予防・療養指導を行う管理栄養士ほかメディカルスタッフの役割は非常に重要です。又、国が6年前より取り組んでいる特定健診に続く特定保健指導には栄養士さんの食事指導は運動指導と共に重要で、健康寿命の推進、QOLの向上にはむしろ医療そのものより効果があると確信しております。特に国全体の課題である総医療費の急速な伸びを少しでも軽減していくためには適正な食事と適度の運動に勝るものではありません。更に地域包括ケア体制の拡大整備を国は厚労行政の今後の目玉としており、この方面での栄養士、管理栄養士の方々の需要は伸びていくことに間違いありません。今後の益々の活躍、発展を祈念致しております。



(一社)岡山県歯科医師会長 酒井 昭則

岡山県栄養士会法人設立30周年をお迎えの由、衷心よりお慶び申し上げます。また平素は弊会会員が貴会の皆さまに、さまざまな形でご指導、ご教示を賜っていることに改めて感謝と御礼を申し上げます。30年前、法人化された貴会は、我が国の発展、近代化とともに県民の健康の保持、増進にたゆまざる努力を積み重ねてこられました。その足跡、軌跡は平坦な道ばかりではなく紆余曲折、試行錯誤をくりかえしながらの30年であったと拝察いたします。時のあゆみには3種類あると云われています。未来はためらいつつ近づいてくるが、現在は矢のごとく飛び出す。そして過去は永久に厳然として静かに立っている。貴会30年の歴史は燦然とかがやき厳然とたたずんでいます。先達が営々として培い、丹精こめ確立してこられた自尊自立の精神を大切に、さらなる発展、飛躍に向け会員相互の絆を糧に邁進されることを祈念申し上げお慶びといたします。



(一社)岡山県薬剤師会長 赤澤 昌樹

岡山県栄養士会におかれましては、法人設立30周年を迎えられ、誠におめでとうございます。貴会や栄養士の方々には、薬局等での栄養指導や食事指導等に日頃から大変お世話になっており、この機会をお借りしてお礼を申し上げます。さて、医療体制が大きく変換しようとする中、地域包括ケアの重要性がますます高まっており、我々薬局・薬剤師は、地域の健康情報拠点としての役割を高めるとともに、貴会をはじめ多職種の方々と連携して積極的に活動していかなければならないと考えております。貴会では、本年度から在宅患者等の栄養指導のための管理栄養士の派遣を実施されると聞いており、お互いに在宅患者のために協力してまいりたいと思っておりますので、今後とも本会や薬局の活動にお力添えをいただけますよう、よろしく申し上げます。法人設立30周年の節目を迎えられ、岡山県栄養士会がますますご発展されますことを祈念いたします。



(公社)岡山県看護協会長 石本 傳江

岡山県栄養士会の皆様、法人設立30周年、誠におめでとうございます。健康の維持・回復に「食」は欠かせない生活行動であり、生きることの楽しみや希望となりうるものです。特に苦痛や精神的要素により、食が進まない時、明らかに病状は悪化し、逆に食が満たされるとき、病状と共に意欲が飛躍的に回復することは度々臨床で体験することです。そこで重要なことは、栄養士の皆様と、個々の患者情報を持つ看護職との専門的な有機的連携と考えます。『連携』とは何でしょうか。専門性による「分担と連絡」と一般に考えられるようですが、大切なのは『共働』でなければならないと思います。「食」の問題を持つ方にキュアとケアの両面からアプローチする専門職の同志として、協働する場面が増えることを願います。今、社会から求められている、よりよい医療のあり方をご一緒に追究して参りましょう。貴会のますますのご発展をお祈りし、お祝いの言葉と致します。



NPO法人岡山県介護支援専門員協会長 堀部 徹

岡山県栄養士会におかれましては、法人設立30周年を迎えられ、誠におめでとうございます。高齢社会の進展の中で、永年各地域で栄養指導等の活動を行っておられる貴団体の活動は、介護支援専門員にとっても日頃から大変心強く思っており、この機会をお借りしてお礼を申し上げます。平成24年から開始された栄養ケア活動支援整備事業におかれましても、これからの栄養士の地域活動を目指して先進的な取り組みをされ、介護支援専門員協会もお手伝いをさせていただきました。地域における栄養指導の評価は高く、今後も介護予防をはじめとして高齢者支援の専門的活動が望まれているところです。今後も貴会の活動に対しましても積極的なご協力をして参りたいと思っております。法人設立30周年の節目を迎えられ、岡山県栄養士会がますますご発展されますことを祈念し、お祝い申し上げます。



(一社)岡山県歯科衛生士会長 武田 明美

岡山県栄養士会法人設立30周年を心からお慶び申し上げますとともに、記念誌の発刊をお祝い申し上げます。食は命の源であり、食を守るとは命を守ることに繋がっています。この30年の間に貴会は、災害時の食、超高齢社会での食、要介護者への食に対応され、また、子ども達の食育や栄養ケアステーションにも取り組まれ、時代の要請の中でしっかりと命を守る使命を果たされてこられました。貴会会員の皆様の研鑽の賜と拝察申し上げます。近年、多職種協働、連携が求められている中で、貴会の皆様と高齢者や要介護者の人生の質の向上につながる食と口腔の機能に配慮した支援にご一緒できますこと、光栄に思っております。最後になりましたが、岡山県栄養士会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。



岡山県栄養改善協議会長 中川 初美

公益社団法人岡山県栄養士会が法人設立30周年を迎え、ここに記念誌を発刊されますことを心からお慶び申し上げます。貴会におかれましては、日頃より地域にて私たち県民の健康づくりの推進に多大にご尽力いただいておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。さて、急速な高齢化やライフスタイルの多様化が進む中で、生活習慣病や要介護者の増加等が課題となっており、食事や運動などの生活習慣の改善によって、いつまでも健康で元気な生活を送るための取り組みが重要になってきております。岡山県栄養改善協議会では、地域の健康づくりボランティアとして、食生活の改善に取り組むための様々な活動を継続して実施しているところですが、今後とも貴会の皆様には私たち栄養委員の良きアドバイザーとしてご支援とご指導を賜りますようお願いいたします。貴会の益々のご発展と皆様がこれまで培われた知識や経験を活かしながらか活躍されますよう祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。



祝電、お祝いメッセージをいただきました。

(順不同 敬称略)

衆議院議員 逢沢 一郎

衆議院議員 加藤 勝信

衆議院議員 阿部 俊子

衆議院議員 橋本 岳

衆議院議員 山下 貴司

衆議院議員 池田 道孝

衆議院議員 津村 啓介

衆議院議員 平沼 赳夫

参議院議員 石井 正弘

参議院議員 谷合 正明

参議院議員 江田 五月

参議院議員 片山虎之助

岡山県市長会長 黒田 晋

岡山県栄養士養成施設協議会長 高木 孝子

味の素株式会社中国支店

岡山ヤクルト販売株式会社



● 公益社団法人岡山県栄養士会のあゆみ

昭和21年～昭和58年（法人化まで）

年	で き ご と	会員数	会長名
昭和21年	岡山県栄養士会結成		小野田辰雄
25年	日本栄養士会岡山県支部を設置（事務局…岡山県衛生部公衆衛生課内）		坪田 良治
32年	第1回栄養士研究発表大会（昭和49年第17回をもって岡山県栄養士発表集会に名称変更）	166	
37年	第9回日本栄養改善学会を岡山市で開催	378	
44年	機関紙「なかま」創刊（年1・2回発行）	332	
45年	岡山県栄養士会設立総会	380	
46年	・第1回岡山県栄養士会定例総会開催 ・事務局を岡山市 畠瀬ビル内に移転	759	田村 順子
48年	第3回岡山県栄養士会定例総会開催	692	福田 道子
50年	岡山県委託事業「岡山県栄養士研修会」開催 現在に至る	625	
51年	第18回岡山県栄養士会発表集会開催（昭和63年第29回をもって終了）	608	
53年	・事務局を岡山市津倉町1-2-1 ヤクルトビル内に移転 ・機関紙「なかま」年3回発行 現在に至る	686	
57年	栄養士免許制度改悪阻止岡山県決起大会開催	730	
58年	法人化実行準備委員会設置	915	

昭和59年～平成15年（法人設立20年）

年	で き ご と	会員数	会長名
昭和59年	・社団法人岡山県栄養士会設立総会開催 ・社団法人岡山県栄養士会として認可される（12支部…岡山・笠岡・倉敷・高上川・瀬戸・総社・玉野・新見・美作・和気・西大寺・児島 7職域部会…学校・教育養成・行政・産業・福祉・病院・普及） ・機関紙「なかま第32号」発行	939	福田 道子
60年	栄養士法・栄養改善法改正、社団法人岡山県栄養士会設立記念祝賀会開催	913	
62年	第1回管理栄養士国家試験準備講習会開催（以降平成9年度まで開催）	1,131	
63年	・第1回岡山県栄養改善学会開催（従来の栄養士研究発表会を発展解消し、学会と改称） ・瀬戸大橋博'88「米まつり岡山」会場において、学校給食米飯献立展・パネル写真展示・食生活相談実施 ・フードモデル作成（1日1,200kcal 1,600kcal） ・「燃えろ岡山 健康フェスティバル」会場においてフードモデルを展示、食生活相談を実施	1,172	
平成2年	・定期総会において定款の一部変更承認（職域部会が職域協議会に、普及部会が公衆栄養推進協議会となる） ・生涯教育専門委員会設置	1,247	
3年	・支部・職域協議会の運営規定について検討 ・栄養成分表示店普及促進事業について検討、打ち合わせ会	1,282	
4年	・定款一部変更承認、13支部となる（岡山・井笠・倉敷・高上川・赤磐・総社・玉野・阿新・津山・真庭・勝英・東備・西大寺） ・生涯教育研究会開始	1,346	前田 民子

年	で き ご と	会員数	会長名
平成6年	- 岡山市が保健所政令市となる - 定例総会において定款一部変更（支部…岡山・西大寺を削除し、岡山市・御津・邑久を加える 会費…5,500円→6,500円） - 健康保険法改正（食事の自己負担開始、訪問栄養指導資料が認められる等） - 社団法人岡山県栄養士会設立10周年記念式典・祝賀会開催	1,434	前田 民子
7年	事務局にコンピューター設置	1,513	
8年	福田道子元会長 叙勲（勲五等瑞宝章）	1,532	
9年	- 地域保健法施行 - 岡山県南部健康づくりセンターオープン - 福田道子先生の受賞をお祝いする会開催（林原ルネッサンス岡山ビルにて）	1,600	
10年	- 定期総会において定款一部変更 - 事務局移転…岡山市古京町1-1-17 - 監事の選任…会員外の有識者より総会において選任	1,603	
11年	（社）岡山県栄養士会定款施行細則、支部及び職域協議会運営規定 施行	1,659	
12年	- 栄養士法改正4月7日公布（平成14施行）介護保険制度スタート 「健康日本21」の実施「第6次日本人の栄養所要量」の改定、実施 - 新しい栄養指導指針の策定、発表、活用 - 定期総会において、（社）岡山県栄養士会栄養情報基金の設置承認 「岡山県三木記念助成金」の助成団体（行政部門）に選ばれる	1,694	
13年	「三重の喜びと新たな決意のつどい」（新年・栄養士法改正成就・三木記念賞受賞）の祝宴をラヴィール岡山にて開催 「健康おかやま21」策定	1,642	
14年	「栄養士法の一部を改正する法律」施行（管理栄養士資格登録から免許制になる。健康の保持増進のための栄養指導を行う。養成施設のカリキュラム改正） - 保健所再編による支部編成変更（御玉支部分生…御津・玉野・邑久合併、赤磐支部が東備支部に統合） 「健康増進法」公布（国民の自主的な健康づくりや生涯にわたる健康管理を側面から支援する）	1,670	森 恵子
15年	- 岡山県からの委託事業として「栄養成分表示店普及促進事業」を開始 - 岡山県からの委託事業として「スポーツ栄養サポート事業」を開始 「健康増進法」施行	1,693	



な か ま (第123号) 法人設立30周年記念号

平成16年～平成26年（法人設立30年）

年	で き ご と	会員数	会長名
平成16年	「学校教育法等の一部を改正する法律」（栄養教諭制度創設）平成17年4月施行通知 （社）岡山県栄養士会法人設立20周年記念行事開催（講演・シンポジウム・式典・祝賀会） - 機関紙「なかも第93号」法人設立20周年記念号発行 「岡山栄養ケア・ステーション事業準備委員会」をたちあげる - 資料「晴れの国おかやま国体応援レシピ」作成	1,705	森 恵子
17年	6月「食育基本法」制定 6月厚生労働省と農林水産省が合同で「食事バランスガイド」を策定 10月22日、第60回国民体育大会開催 競技ごとの栄養サポート 11月1日から「岡山栄養ケア・ステーション」開始となる - 介護保険に続き医療保険の改正があり、新たに食育推進基本計画が策定され、毎年6月が食育月間、毎月19日が食育の日になる - 市町村合併に伴い支部編成変更（17支部→11支部） - ホームページ委員会開催	1,813	
18年	- グループ研修「食コーチング研修会」開催 - 平成19年3月「第24回公衆栄養活動研究会」が岡山市で開催	1,793	
19年	4月から特定検診・特定保健指導が始まる 「災害時の栄養・食生活マニュアル委員会」開催 - グループ研修「介護食研究会」開催 1月「第27回食事療法学会」が倉敷市で開催	1,775	
20年	- 岡山栄養ケア・ステーション事業で「特定保健指導担当者フォローアップ研修会」開催 - 冊子「野菜の魅力」作成	1,812	
21年	5月福田道子賞を制定 （財）岡山県体育協会から「スポーツ栄養サポート事業」を委託される - 資料「非常災害時の栄養・食生活マニュアル ～非常時に落ち着いて対応するために～」を作成 - 冊子「さかなの魅力」作成 - 高齢者のためのリーフレット「いつまでも元気！豊かに暮らす」を作成 - 栄養成分表示店への配布資料「太るもやせるも食事が基本」を作成	1,786	
22年	「栄養成分表示活用塾」を開始 - 機関紙「なかも第111号」（11月30日発行）からカラー印刷となる 「ブラッシュアップ研修会」開催 - スポーツ栄養担当者が活動時に着るポロシャツ作製 - 冊子「野菜の魅力パート2」作成	1,742	
23年	6月公益社団法人岡山県栄養士会定款施行規則が制定された - 職域区分の名称変更 行政→公衆衛生、集団健康管理→勤労者支援、病院→医療 （社）岡山県栄養士会30周年記念事業オリジナルエプロンを作製（黄色とデニムの2種類） - 糖尿病等栄養管理連携支援システム活用推進事業を実施	1,730	
24年	4月1日「公益社団法人岡山県栄養士会」誕生 - 地域連携パスを用いた在宅栄養ケアプロジェクト ～元気！いきいき高齢者支援～ 事業を開始（厚生労働省補助事業 平成24年～平成25年） - 指導資料「介護者のための簡単レシピ集」と「手ばかり」を作成 - 冊子「果物の魅力」作成	1,740	
25年	- FROM-J 生活・食事指導継続体制事業の実施 - 腎疾患重症化予防実践事業の実施 - 資料「みんなでいただきます！ささっとアレンジ！簡単ごはん」作成	1,746	
26年	11月15日公益社団法人岡山県栄養士会法人設立30周年記念大会開催（講演・式典・祝賀会） - 機関紙「なかも第123号」法人設立30周年記念号発行		

事業

平成24年4月1日の岡山県栄養士会公益社団法人設立に併せて事業の見直しを行った。

従来実施してきた多くの事業を「公益事業1（栄養改善・健康づくり支援事業）」、「公益事業2（学術・技術の振興・向上のための事業）」、「事業推進のための会議等」に分けた。

公益事業1（栄養改善・健康づくり支援事業）

1. 岡山栄養ケア・ステーション事業

疾病の一次予防及び重症化予防、高齢者の介護予防・低栄養状態の改善ひいては住民のQOLの向上を図るため、専門的な立場で適切な栄養・食生活相談・指導を行うことを目的とする。

平成16年度に岡山栄養ケア・ステーション事業準備委員会をたちあげ、平成17年度から実施した。

(1)事業内容

1) 栄養・食生活相談

毎週木曜日の午後に公益社団法人岡山県栄養士会事務局で開設し、県民からの栄養・食生活に関する相談を受けている。

年 度	17	18	19	20	21	22	23	24	25
実施回数	17	50	49	48	43	46	49	50	48
相談件数	13	63	25	24	17	27	38	29	24

2) 企業等からの依頼事業

登録指導員を企業等へ派遣・紹介を行った。

年 度	17	18	19	20	21	22	23	24	25
派遣・紹介先数	20カ所	34	46	16	23	24	35	51	54
派遣者数	32	105	299	81	119	187	267	238	266

3) 糖尿病等栄養管理連携支援システム活用推進事業（岡山県備前県民局委託事業）

かかりつけ医で栄養指導を要する糖尿病患者の状況を把握し、在宅での栄養管理を推進するための支援体制づくりの方向を検討していくための資料を得ることを目的に平成22年度にアンケート調査を実施し平成23年度から事業に取り組んだ。

年度別事業内容

ア 平成22年度

アンケート調査の実施

調査対象 県南東部圏域の医療機関

調査方法 郵送法によるアンケート調査

イ 平成23年度

医師3名、管理栄養士12名、備前県民局2名、計17名で構成するワーキンググループを設置した。

栄養管理指導連携パス案の作成、栄養指導を標準化するための指導用媒体の作成検討会の開催、並びに栄養ケア・ステーション登録指導員を対象に糖尿病指導担当者への説明会と勉強会を実施し、担当栄養士の掘り起こしとスキルアップを図った。7医療機関で試行的運用が始まった。

ウ 平成24年度

医師4名、管理栄養士8名で構成するワーキンググループにより3回会議を開催し事業の拡大方法を検討した。

病院勤務管理栄養士を対象に事業説明会を開催し、また、医院等を訪問し個別に事業説明

な か ま（第123号）法人設立30周年記念号

を行った。

栄養指導技術の向上を図るため研修会を開催した。

エ 平成25年度

①糖尿病等栄養管理連携支援システムと岡山栄養ケア・ステーションを活用して医院での栄養指導

②公民館での集団指導

地元医師会の医師による講話と管理栄養士による栄養・食生活に関する演習と手軽にできる運動指導

御津医師会：3 公民館

赤磐医師会：1 公民館

③資料作成

「栄養管理連携支援システムについてのご案内」2,000枚

4) FROM-J 生活・食事指導継続体制事業（日本栄養士会）

慢性腎臓病（CKD）の重症化を予防しうるあるべき診療の仕組みを研究する「かかりつけ医／非腎臓病専門医と腎臓病専門医の協力を促進する慢性腎臓病患者の重症化予防のための診療システムの有用性を検討する研究を担う。

平成25年度事業

ア 会議 2回

・FROM-J 地域ミーティング

開 催 日：平成26年1月28日

会 場：倉敷市休日夜間急患センター

会員参加数：4 名

・FROM-J 地域ミーティング及びOCKD-NETセミナー

開 催 日：平成26年2月26日

会 場：アークホテル岡山

会員参加数：3 名

イ 個別事業説明

医院等を訪問してケア・ステーションを利用したの継続を依頼した。

真庭市2施設、久米南町1施設、津山市1施設

ウ FROM-J 終了後倉敷市内の1施設と契約を交わし栄養指導実施中

5) 腎疾患重症化予防のための実践事業（日本栄養士会）

ア 平成20年度～平成24年度事業

管理栄養士14名による栄養指導と栄養士会事務局がコーディネートを行う。

イ 平成25年度事業

倉敷市の1施設で実施した。対象患者2名、指導回数4回

腎疾患重症化予防実践事業管理栄養士講習会を開催した。参加者数26名

6) 有床診療所等への管理栄養士配置促進にかかる事業

ア 有床診療所等就業管理栄養士研修会を開催した。1回、参加者24名

イ 県・郡市医師会長及び県内有床診療所（管理栄養士未配置）176施設へ「有床診療所等への管理栄養士紹介について」の文書をもって管理栄養士の採用依頼を行った。

7) 栄養ケア活動支援整備事業

厚生労働省から補助事業を受け平成24年6月27日からスタートした。

事業名 地域連携パスを用いた在宅栄養ケアプロジェクト～元気！いきいき高齢者支援

ア 平成24年度事業

目的 ・病院での食事指導と退院後の食事指導の切れ目のない連続性を保つ。

・専門職である管理栄養士が「地域連携パス」を用いて地域の医療機関と連携し、栄養ケアを必要とするものへの支援体制の構築を図る。

・健康で元気な高齢者を増加させ、楽しくおいしく、安全な食事の経口摂取ができ

るよう「顔が見える地域連携システム」を構築する。

事業内容 ①潜在管理栄養士発掘及び育成

- 研修会 1回、38名参加
- 病院、福祉施設での現場研修
協力病院 11病院、32名参加
協力福祉施設 7施設、34名参加
- 調理実習（介護食の基本、介護食調理実習）2回、48名参加

②診療所等への管理栄養士の紹介

- 拠点病院 3病院、診療所 3医院
- 対象患者数 8名、担当管理栄養士 5名

③栄養ケア地域連携パスの開発とその支援システムの構築

岡山市を中心に飲み込みにくい人、食欲がない人、低栄養が心配な高齢者への支援について地域連携パスを用いて行った。また、指導用資料として「介護者のための簡単レシピ集」と「手ばかり」の2種類を作成した。

- 連携居宅介護支援事業所 4事業所
- 連携診療所 7医院
- 在宅訪問対象者 13名、担当管理栄養士 10名

④資料作成

「岡山栄養ケアステーションのご案内」の改訂版作成2,000枚

イ 平成25年度事業

目的 急性期病院等の退院時カンファレンスから参画し、医師、介護支援専門員、訪問看護師、訪問介護員等との連携により「食支援活動」を病院・医院等と在宅医療をシームレスに繋ぐ持続可能な地域システムとして確立するため、在宅現場における「生活支援活動」の課題を抽出し、その具体的な改善策を講ずる。

事業内容 ①運営組織

- 評価委員会 委員5名、2回開催
- 企画検討委員会 委員10名、2回開催
- ワーキンググループ3グループ、委員19名、7回開催
- 進捗管理委員会 委員25名、2回開催
- 在宅訪問栄養指導食事指導連絡調整委員会 委員21名、18回開催

②研修会等

研修会4回開催、検討会1回開催

③ニーズ調査の実施

- 地 域：岡山市、倉敷市、総社市、真庭市、新見市、津山市、奈義町
- 対象人数：29名
- 評価方法：BDHQ（簡易型自己式食事歴法質問票）
CGA（高齢者総合的機能評価）

8) 研修会

岡山栄養ケア・ステーション登録指導員研修会

年 度	18	19	20	21	22	23	24	25
開催日数	2	1	3	1	1	3	1	5
参加人数	109	-	-	-	52	144	29	180

平成17年度は日本栄養士会等主催の該当する研修会へ参加・派遣した。

平成18年度以降も該当する研修会へ参加した。

（平成19年度～平成21年度は参加人数記録無し）

なお、平成20年度の開催日数のうち2日は「特定保健指導実践者育成研修会」として開催した。

平成25年度は在宅における栄養ケア活動支援整備事業として研修会を開催した。

な か ま (第123号) 法人設立30周年記念号

9) 広報活動

- ア 平成25年5月14日
岡山市メディカルセンターにて岡山栄養ケア・ステーションの概要説明
- イ 平成25年6月29日
第10回東備糖尿病療養指導セミナーにて「糖尿病等栄養管理連携支援システムと栄養ケア・ステーションの活動」報告
- ウ 平成25年10月14日
岡山県糖尿病医療連携シンポジウムにて「糖尿病医療連携における管理栄養士の役割と岡山栄養ケア・ステーションの活動」報告
- エ その他
「第20回岡山県保健福祉学会」「第27回岡山県栄養改善学会」等で発表し、岡山栄養ケア・ステーションの広報活動を行った。

2. 外食栄養成分表示店普及促進事業

平成3年度厚生労働省「外食料理の栄養成分表示ガイドライン」のもと事業を検討し、平成4年度から各支部活動の中で実施した。

平成15年度から岡山県の委託を受け、新たなガイドラインに沿って活動を展開した。

年度別事業内容

年 度	事 業 内 容
17	ヘルシーおもてなし料理開発事業 真庭支部（7施設）、勝英支部（6施設）、津山支部（2施設） ヘルシーおもてなし料理発表会 開催日：平成17年10月17日 会 場：美作大学
21	栄養成分表示店への配布資料作成 「太るもやせるも食事が基本」5,000部作成
22	栄養成分表示活用塾 1) (社)岡山県栄養士会 開催日：平成22年11月23日(火) 会 場：天満屋岡山店7階ファミリーレストラン 事業名：栄養成分表示活用塾 ～おいしく食べて幸せ気分～ 内 容：成分表示を活用したメニューの選び方等アドバイス 参加者：33名 担当会員21名 2) 行政協議会保健所部会 開催日：平成22年12月19日(日) 会 場：ザ・ビッグ連島店 事業名：食育 in 連島店 ～食べることをもっと考えよう～ 内 容：自分にあったお弁当を選ぼう おはしを使ってシガーフライタワーを作ろう 参加者：130名 担当会員5名 3) 栄養成分表示普及講習会 2支部（新見支部、真庭支部）にて開催
23	栄養成分表示活用塾 開催支部：3支部（新見支部1回、真庭支部1回、勝英支部1回）
24	栄養成分表示活用塾 開催支部：7支部（新見支部1回、真庭支部1回、勝英支部1回、玉瀬支部1回、倉敷支部1回、岡山支部3回、高梁支部1回）
25	栄養成分表示活用塾 開催支部：8支部（玉瀬支部2回、高梁支部1回、新見支部1回、真庭支部2回、津山支部1回、勝英支部3回、岡山市支部6回、倉敷市支部1回）

外食栄養成分表示年度別登録状況

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
登録数	156	256	553	659	695	913	970	1,016	1,049	1,053	1,043

3. スポーツ栄養サポート事業

平成15年度から岡山県（平成21年度から公益財団法人岡山県体育協会）からの委託事業として競技団体の求めに応じスポーツ栄養サポートを実施している。

事業内容

- (1)スポーツ栄養研修会の開催
- (2)各種競技への栄養サポート
- (3)講演会・委員会等への参加

年度別栄養サポート実施競技状況

	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
水泳・競泳	○	○		○		○	○		○・☆	○	
水泳・競泳少年男女					○			○			
飛び込み少年男女								○			
水 球	○	○	○								
ボート	○	○				○					○
バスケットボール	○								○		
自転車	○	○	○								
シンクロ	○	○	○								
パドミントン	○	○									
パドミントン少年女子					○						
カヌー	○		○			○			○		○
カヌー少年男女				○	○			○			
ソフトボール	○	○	○			○	○		○・☆	○	○
ソフトボール成年女子				○	○						
ソフトボール少年女子				○	○						
ソフトボール少年男子				○	○			○			
アーチェリー	○	○	○								
剣 道	○	○	○			○			☆		
剣道少年男子					○						
剣道少年男子・女子					○						
剣道中学生								☆			
レスリング	○	○	○			○			○	○	○
レスリング少年男子				○	○						
レスリング少年男女								○			
スキー	○	○		○		○			○		
ホッケー	○								☆		
セーリング		○	○		○	○	○		○	○	○

な か ま (第123号) 法人設立30周年記念号

	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
セーリング成年男女				○							
セーリング少年男女				○				○			
サッカー		○	○								
サッカー成人女子								○			
サッカーキッズ男女								○			
山 岳			○								
ハンドボール				○		○	○		○	○	
ハンドボール少年女子					○			○			
体 操						○			☆		
体操少年女子					○						
体操少年男子								☆			
体操中学生								☆			
柔 道						○	○				
柔道少年・成人					○						
ラグビー						○	○		○	○	○
ラグビー少年男子								○			
ラグビーキッズ男女								○			
ボウリング						○					○
陸 上						○					
ソフトテニス少年女子								○			
パワーリフティング (成年男女)								○			
ボクシング									○	○	○

○：栄養サポート競技

☆：つくろう・のばそう・育てよう！スポーツプロジェクト（岡山県）

4. 栄養・食生活相談事業

各支部、各協議会において栄養・食生活相談を開催した。

(1)生活習慣病予防のための栄養・食生活相談

健康フェスタ、栄養まつり他骨密度測定後の栄養相談等

年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
回 数	34	41	28	40	33	35	43	42	43	41
参加人数	6,069	5,018	5,371	4,501	3,308	5,535	3,776	4,058	3,780	4,008

(2)糖尿病等栄養食生活相談

岡山小児糖尿病サマーキャンプ等

年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
回 数	3	2	1	1	1	6	2	4	5	3
参加人数	110	317	19	26	30	94	36	111	13	135

(3)子どもの栄養食生活相談

はぐくみ岡山おぎゃっと21真庭、倉敷、岡山他子どもフェスティバル等

年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
回 数	12	16	43	17	33	2	8	6	4	7
参加人数	760	962	2,939	1,132	4,573	994	1,647	285	1,212	1,372

平成16年度～平成20年度は子どもの食生活相談、食育推進事業として実施

平成21年度～平成25年度は、はぐくみ岡山おぎゃっと21真庭、倉敷、岡山その他子どもフェスティバル等を掲載

(4)介護予防、高齢者の栄養・食生活相談

年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
回 数	7	7	9	6	8	4	-	-	26	18
参加人数	262	206	261	188	209	93	-	-	229	134

平成22年度・平成23年度は「介護予防、高齢者の栄養・食生活講習会」に掲載

5. 栄養・食生活講習会事業

各支部、各協議会において栄養・食生活講習会を実施した。

(1)生活習慣病予防のための栄養・食生活講習会

年 度	22	23	24	25
回 数	5	12	20	11
参加人数	131	293	856	298

平成16年度～平成21年度は生活習慣病予防のための普及啓発事業として掲載

(2)糖尿病等食生活講習会

年 度	22	23	24	25
回 数	2	4	2	4
参加人数	36	111	64	80

平成16年度～平成21年度は糖尿病等食生活相談として掲載

(3)子どもの栄養・食生活講習会

年 度	17	18	19	20	21	22	23	24	25
回 数	11	11	11	13	57	20	24	25	24
参加人数	827	680	733	720	3,948	1,912	895	1,954	1,412

平成16年度は子どもの栄養・食生活相談に掲載

平成17年度～平成20年度は食育推進事業「元気いっぱい子のごはんパーティ」として開催

平成21年度は食育推進事業として集計

(4)介護予防、高齢者の栄養・食生活講習会

年 度	22	23	24	25
回 数	13	12	18	3
参加人数	57	254	740	59

平成16年度～平成21年度は「介護予防、高齢者の栄養・食生活相談」に掲載

な か ま (第123号) 法人設立30周年記念号

(5)災害に備えた食生活講習会

年 度	23	24	25
回 数	3	5	5
参加人数	290	49	259

平成23年度から事業スタート

6. 健康づくり提唱のつどい

年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
回 数	1	2	2	2	3	2	2	1	2	2
参加人数	41	540	244	104	264	103	51	28	40	30

7. 栄養・食生活展示事業

イベント等でのパネル展示・試食会等を実施した。

年 度	22	23	24	25
回 数	21	28	31	29
参加人数	4,344	5,271	5,124	5,367

平成16年度～平成21年度は「生活習慣病予防のための栄養・食生活相談」として掲載

8. 地産地消推進事業

本会、各支部において地産地消事業に取り組んだ。

(1)地産地消普及のための栄養・食生活講習会

年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
回 数	1	1	1	1	1	-	8	9	6	4
参加人数	354	350	360	428	368	-	175	148	101	112

平成16年度～平成19年度は米消費拡大推進事業（米まつり岡山）

平成21年度は「ごはん食出前講座」「親子でごはんモリモリ講座」として開催

(2)ごはん食出前講座（岡山県主催）

講話、調理実習を行った。

年 度	21	22	23	24	25
回 数	1	2	2	2	1
参加人数	40	40	37	30	30

平成21年度から事業開始

(3)親子でごはんモリモリ講座（岡山県主催）

小学生と保護者を対象に各支部で実施した。

年 度	21	22	23	24	25
回 数	3	3	3	5	3
参加人数	86	128	101	111	147

平成21年度から事業開始

(4)「実感・実践！おかやま地産地消弁当コンクール」(岡山県、岡山県食料自給率向上対策会議主催)への参加

(5)その他

牛乳・乳製品料理コンクール、「食べよう！おかやまの肉」川柳コンテスト等地産地消事業への協力をを行った。

9. 栄養・食生活情報提供事業

- (1)機関紙「なかま」を年3回発行した。
- (2)ホームページの運営
記載内容：「岡山のあじ」コーナー、研修会のお知らせ、栄養成分表示店紹介コーナー、支部・協議会紹介コーナー等
- (3)マスコミ等出演、記事提供
ラジオ、新聞、雑誌等への出演、記事提供等を行った。
- (4)指導資料作成
指導資料として、手ばかり、ペープサート、パネル等を作成した。

公益事業2（学術・技術の振興・向上のための事業）

1. 研修会

(1)岡山県栄養士会総会時特別講演会

開催日	特別講演演題・講師	参加人数
H16.6.5	「第7次改訂日本人の栄養所要量を理解するための基本的な考え方」 講師 独立行政法人国立健康・栄養研究所栄養所要量策定企画運営 担当リーダー 佐々木 敏	188
H17.6.4	「第17回日本アレルギー学会春季臨床大会市民公開講座」に参加 市民公開講座「アレルギーの予防と治療」 招待講演「私が体験したアレルギーについて」 講師 女優 吉行 和子	136
H18.6.3	「成人病胎児期発症説からみた妊産婦のための食生活指針」 講師 東京大学大学院教授 福岡 秀興	143
H19.6.9	「トランス脂肪酸の最近の知見と栄養指導」 講師 管理栄養士 有元 祥三	151
H20.6.8	「聴いて、待って、支えます ～栄養相談に生かすカウンセリングの心～」 講師 川崎医療福祉大学医療福祉学部 臨床診療学科教授 保野 孝弘	154
H21.5.30	「薬膳 体に良い食べ合わせ」 講師 大森食品(株)フードコンサルタント事業部 部長 趙 秋娥	133
H22.6.12	「料理教室をより魅力的にするために ～「アクションクッキング」の場合～」 講師 パロマローザ主宰 景山 なお子	102
H23.6.11	「岡山弁再発見」 講師 (株)ビザビリレーションズ「オセラ」 編集顧問 青山 融	128
H24.6.9	「私の栄養士人生 ～46年目を迎えました～」 講師 NPO法人島根県糖尿病療養支援機構 副理事長 田中 美紗子	131
H25.6.8	「職業倫理 ～栄養士法改正に向けてどう取り組むか～」 講師 京都府立大学大学院 教授 木戸 康博	131

(2)岡山県栄養改善学会特別講演

年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
参加人数	138	133	148	191	154	134	105	105	116	122

な か ま (第123号) 法人設立30周年記念号

(3)管理栄養士・栄養士研修会 (岡山県委託事業)

年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
参加人数	87	100	104	104	154	88	87	78	68	115

(4)日本栄養士会委託研修会

食生活と植物油栄養に関する講習会、指導者のための健康栄養セミナー等の研修会を開催した。

(5)生涯学習研修会

年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
日 数	8	7	6	6	6	6	6	7	5	4
科目数	16	16	17	17	15	15	16	15	13	11
参加人数	1,266	997	1,280	1,319	1,135	1,105	2,056	1,214	1,192	1,180

(6)食コーチング研修会、介護食研修会、その他福祉・児童部会研修会等自主活動研修会

(7)組織強化のための研修会

未加入栄養士を含む研修会

(8)各協議会、各支部研修会

各協議会、各支部において研修会を開催した。

2. 調査研究事業

- ・岡山県栄養改善学会
毎年1回開催

3. 福田道子賞基金事業

故福田道子名誉会長のご遺族からの寄附をもとに、福田道子賞基金を設置し、栄養・食育事業の普及浸透を図り、後継指導者の事業を実施するため、毎年、総会の席上で「福田道子賞」を授与し後継者を育成する。

4. 組織強化事業

(1)未加入栄養士対象事業

未加入の管理栄養士・栄養士に対して栄養士会活動について啓発し、会員増をはかるとともに管理栄養士・栄養士養成施設の卒業生にリーフレット「加入のご案内」を配布した。

(2)自主研究グループ事業

- ・岡山栄養マネジメント研究会
- ・介護食研究会
- ・福祉協議会児童部会研究会

事業推進のための会議等

1. 会議

(1)総会、理事会、常任理事会、監査会等

(2)委員会

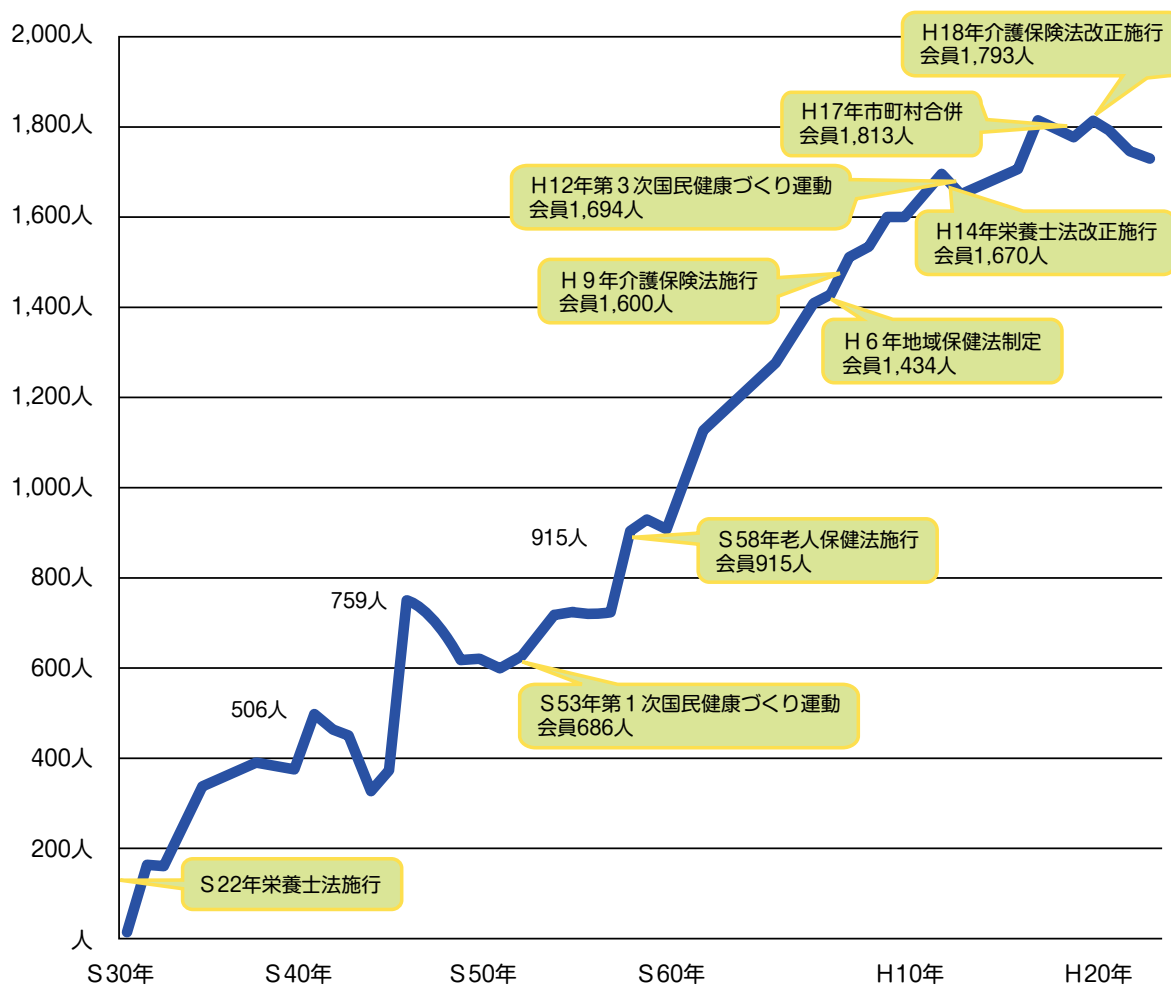
- 1) なかま編集委員会
- 2) 生涯学習委員会
- 3) ホームページ委員会
- 4) 栄養成分表示普及促進委員会
- 5) 岡山栄養ケア・ステーション運営委員会
- 6) 30周年記念事業準備委員会

2. 各協議会、各支部役員会・運営委員会

各協議会、各支部において役員会、運営委員会を開催した。



岡山県栄養士会会員数の状況



岡山県栄養士会の会員数は、年々増加傾向にあります。これは、社会的背景により栄養業務に関わる法的根拠が整備されたことが、要因のひとつと考えられます。それと合わせて岡山県栄養士会が、地域・職域において、栄養士の増員・強化の取り組みに尽力してきたことが大きな要因となっています。

しかし、この表をみる限りでは、会員数は増大はしていますが、近年の栄養士免許取得登録からすると会員数は目標に至っておらず、課題も多く抱えているのが現状です。

栄養士会活動は、栄養士個人の資質の向上を図るだけでなく、互いの課題を共有化しそれを組織活動で解決していくことで目標が達成できます。そうした活動目的の理解を図るとともに、栄養士会の意義・目的を周知徹底していくことが組織強化につながり、栄養士業務がさらに社会的に認識されます。

(公社)岡山県栄養士会法人設立30周年記念大会

平成26年11月15日開催

式次第

1. 開 会

(公社)岡山県栄養士会副会長
寺尾 幸子

2. 挨 拶

(公社)岡山県栄養士会長
森 恵子

3. 来賓祝辞

岡山県副知事	木幡 浩
岡山市副市長	横山 忠弘
倉敷市長	伊東 香織
衆議院議員	山下 貴司
衆議院議員	柚木 道義
参議院議員	谷合 正明
参議院議員	江田 五月
参議院議員	片山虎之助
岡山県議会議員	小田 圭一
(公社)岡山県医師会長	石川 紘

4. 来賓紹介

5. 祝電披露

6. 感謝状贈呈

7. 標語優秀作品表彰

8. 閉 会

記 念 講 演

ガッテン流！健康のすすめ ～行動変容をめざしたプレゼンの極意～
～せっかくなので。インチキダイエットの見破り方～



元NHK「ためしてガッテン」
演出担当デスク
消費生活アドバイザー 北折 一

北折先生は、私達が今後の活動を進める時、演出家的発想を持つことの大切さを教えてくださいました。

プレゼンをする時、「何々とは」など、ありがちな話から始めて、説明モード全開となるのではなく、「えっ何で」と聞きたいモードを作ると相手を引きつけることができます。

伝えると伝わるは違い、相手が受け取ってはじめて情報となります。受け手の心理状況をよく読みそれをうまくコントロールするよう構成して発信すべきです。と説明されました。

また、「共感、なんだろう感、納得感、お得感（お得感の予感）」の4つの感を意識して作戦を立てます。配布資料も少しの工夫で見えるほど魅力的になります。「変われば変わる、変わらなければ変わらない。」と力強く話されました。

私達も「何かプレゼンする時は、ちょっと頑張って変えてみよう」と感じるような元気をいただいた御講演でした。

30周年式典では



金屏風の前に、多くのご来賓を迎え、厳かな式典の始まりでした。森会長からの「食のことは安心して相談できる栄養士」「誇りを持ったできる栄養」等、挨拶の言葉が印象的でした。また、来賓からは、「健康長寿社会に栄養士に期待」といった励ましのお言葉もいただきました。

来 賓 紹 介

岡山県副知事	木幡 浩
岡山市副市長	横山 忠弘
倉敷市長	伊東 香織
衆議院議員	逢沢 一郎
衆議院議員	加藤 勝信
	(代理秘書 貝畑 明典)
衆議院議員	阿部 俊子
	(代理秘書 今西 和宏)
衆議院議員	橋本 岳
	(代理秘書 原田 開地)
衆議院議員	山下 貴司
衆議院議員	池田 道孝
	(代理秘書 金藤 正康)
衆議院議員	津村 啓介
衆議院議員	柚木 道義
衆議院議員	平沼 赳夫
	(代理秘書 田野 孝明)
参議院議員	石井 正弘
参議院議員	谷合 正明
参議院議員	江田 五月
参議院議員	片山虎之助

岡山県議会議員
岡山県保健福祉部長
岡山県保健福祉部健康推進課長
岡山県保健所長会長
岡山市保健所長
(公社)日本栄養士会専務理事
岡山県栄養士養成施設協議会長
岡山県町村会長
(公社)岡山県医師会長
(一社)岡山県歯科医師会長
(一社)岡山県理学療法士会長
(一社)岡山県作業療法士会長
(一社)岡山県歯科衛生士会長
(一社)岡山県介護福祉会長
岡山県栄養改善協議会長

小田 圭一
伯野 春彦
兼信 定夫
小寺 良成
松岡 宏明
迫 和子
高木 孝子
(代理 菊永 茂司)
河島 建一
石川 紘
酒井 昭則
國安 勝司
檜原 伸二
武田 明美
(代理 重田雅奈江)
安達 悦子
(代理 草加 明子)
中川 初美
順不同 敬称略

感謝状贈呈

受賞者名簿

栄養士会員

内田 修子
梅島 元子
木村 和子
古川 孝子
齋藤美加子
菅 淑江
高原 美鹿
津崎 和美
鳴坂美和子
橋本 規子
藤澤 和子
家守美智子
小林 計子

賛助会員

(株)アルボース広島営業所
味の素(株)中国支店
(株)H+Bライフサイエンス
営業本部中四国エリア
大森食品(株)
大塚製薬(株)岡山主張所
岡山ヤクルト販売(株)
花王(株)
(株)川崎フードモデル
キューピー(株)岡山営業所
サラヤ(株)岡山営業所
三信化工(株)大阪支店
(株)三和化学研究所
(株)白石商店
(株)ダイノー
東洋羽毛中四国販売(株)
岡山営業所
(株)福井厨房
(株)本多岡山支店
(株)誠屋

長年ありがとうございました



栄養士会員50年以上の方が対象でした。謝辞は木村和子さんが受賞者代表で述べられました。



賛助会員の皆様栄養士会活動を長い間、ご支援いただきまして、心から感謝申し上げます。

謝辞紹介



受賞者 代表 木村 和子氏

公益社団法人岡山県栄養士会が法人化30周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。在勤当時お世話になった頃を懐かしく想い起こしています。会の発展と森会長はじめ皆様のご活躍ご健康ご多幸を祈念いたします。



受賞者

岡山ヤクルト販売(株) 永井 正夫氏

岡山県栄養士会が法人化30周年という節目を迎えられ、心より、お慶び申し上げます。管理栄養士・栄養士の皆様の役割は時代の変遷と共に益々重要性を増していると思います。健康増進、生活習慣病の改善、食育、福祉等地域社会の要請は、多岐に渡っており、栄養士の活躍の場は、確実に広がっています。県民の「健康な食文化の向上」に私たちも健康産業の一員として協力をすると共に栄養士会の更なる発展をお祈り申し上げます。

祝賀会では…

記念祝賀会次第

1. 開会挨拶
2. 乾 杯
3. 独 唱
4. 歓 談
5. スライド映写
6. みんなで野菜ダンス
7. 閉会挨拶



楽しい挨拶で乾杯!!!



乾杯は、岡山県保健福祉部長により行われました。その後、個性豊かなスピーチも多くの方からいただきました。

祝賀会も華やかに



独唱は、栄養士会員赤木玄久子さんによりピアノ伴奏によるシャンソンが披露されました。



なごやかに歓談

会場は終始和やかな雰囲気でした。今後の栄養士活動について、会員相互の気持ちは通いあったと思います。



スライド上映

栄養士会活動を振り返りました。懐かしい活動風景に、30年の歴史を感じました。



30周年祝賀会にあたり、栄養士会を大きな列車に例えると、多くの栄養士が大勢の方々に支えられて進んできたのだと思いました。今は、まだ通過点に過ぎずこれからも一人でも多くの人を乗せて「今の食事が未来に繋がるものだ」という信念をもって走り続けていきたいと思いました。(参加者感想)

法人設立30周年記念事業

健康フェア in 岡山・倉敷・真庭



生活習慣病予防研修会を平成26年2月18日に岡山ふれあいセンターに於いて行いました。美味しくて糖尿病にならないヘルシーメニューの実習、新しい糖尿病交換表や甘味料の知識『未来の健康いっしょに考えましょう!!～糖質を知って糖尿病やメタボを予防しよう～』のタイトルのもとに、一般の方20名と会員6名が和気あいあいと、未来の健康をともに考えた講話は大好評！展示物もとてもよくわかったとのことでした。岡山支部 富岡加代子



倉敷市支部では、倉敷市民の方の健康づくりを食生活の面から支援していくことを目的として、栄養フェアを毎年開催しています。今回は、ニシナフードバスケット福島店にご協力いただき、飲食スペースにて骨密度測定や栄養相談などを行いました。栄養士会ののぼり旗を立てて、来店客に声をかけるなどして107名の方にご参加いただきました。栄養フェアなどの支部活動は、地域住民の方々に管理栄養士・栄養士の存在をアピールする良い機会でもありますので、今後も継続して行っていきたいと思います。倉敷支部 中村 博範



この日は台風で真庭市に警報が出ていました。解除になることを見込んで準備開始です。案の定出足はポロポロ。利用者はご高齢の方が多く、栄養相談だけでなく、私たち栄養士と関わることを楽しみにしてくださる方もありました。実績数は少なかったのですが、1人1人にきめ細やかな指導ができました。SATシステムの栄養指導も定着しつつあり、継続する事の大切さを実感した1日でした。真庭支部 三谷 雅江



栄養指導も優しくわかり易く



手ばかり
パンフレットを配布



栄養士会の
エプロンです



のぼりで活動をPR



なかまの声

協議会活動を振りかえって



学校健康教育協議会 赤木 寛子

平成17年度に「栄養教諭」制度が創設されて9年目を迎えました。岡山県でも多くの栄養教諭が配属されており、児童生徒が、将来にわたって健康で生活していくために、食事のとり方や栄養など正しい知識に基づいて自ら判断することができるようにと、日々食に関する指導に取り組んでいます。

私は岡山市の小学校に栄養教諭として配属されて4年目になりました。給食室の運営を基盤として、給食時間においては教室の巡回及び個別や集団での指導教科などの授業時間においては学級担任と連携して指導を行うなど一生懸命取り組んでいます。また岡山市に所属する栄養教諭・学校栄養職員は、区単位で食に関する指導の研究を進めており、私もその一員として取り組んでいます。今年度は教科のなかで指導をする際に、どの学校でも同じ内容で行えるよう、資料や媒体などを研究しています。職場では一人の栄養士ですが、全員で協力して栄養教諭・学校栄養職員の力を上げていきたいと思っています。



研究・教育協議会 青木三恵子

より良い資質の栄養士養成を目指して研究教育協議会は、優れた栄養士・管理栄養士を育て、人々の健康作りに貢献することが大きな使命です。そして卒業後は、栄養士の生涯教育や、それぞれの職場での育成に多くを委ねてきました。栄養士は、他の職種に比べると、職場での人数も少なく、追われるように頑張っていると言えます。そうしただ中で、今年度からは、より連続性を備えた生涯教育の実施と、新たな認定制度や拡充教育による専門管理栄養士などの制度が始まります。それは、内容の高度さ、国際水準への合致など、まさしく機に叶ったものと言えます。しかし、システムを作ったからといって完成ではなく、これからの栄養士が誇りを持って取り組むためには、今の私達の尽力が欠かせません。協議会は、高度な内容を担う基礎力だけでなく、文化的素養や人の行動やこころを動かす愛情に満ちた人間性の涵養といったことを、学生たちに確かに習得させるべく、気の引き締まる思いで取り組んでいます。



公衆衛生協議会 春名かをり

平成12年3月「健康日本21」が策定され、岡山県、各市町村でも健康増進計画を策定し、健康課題に沿い数値目標を定めて、健康づくり施策を展開してきました。平成23年県民健康調査によると、生活習慣病の発症と関連のある「20～30歳代男性の朝食欠食」「40～50歳代の男性の肥満と高塩分摂取」「20～40歳代の野菜摂取不足」等の課題が見られます。現在40歳の方が76歳になる36年後の2050年には、高齢者1人に対して働き盛り世代12人となります。若い世代が生活習慣病を発症する年を遅らせ、老後も生涯現役であることが何より大切です。30年後を見据えて、他職域の栄養士や栄養委員等団体の方々と協働で、食育活動や健康づくりのための運動を進め、健康寿命の延伸に寄与したいと思っています。また、旬の食材を使用した郷土料理や和食を伝承し、県民の方々が、笑顔で食卓を囲む風景が続いていこう「食を通した幸せづくり」にも尽力していきたいと思っています。



地域活動協議会 榎尾 幸子

地域活動は、自宅を拠点として活動されている方々の集まりで年齢も20代～60、70、80代と幅広い層の会員で構成されています。活動内容は、中国四国農政局、岡山県から依頼されたイベントに参加し食育サットを用いた食生活相談などを主に実施していました。平成22年度からは、各地で展開されている「おぎゃっと21」に参加し、離乳食相談が主な活動内容になっています。平成25年度からは、おかやまコープが主催するハッピーフードパークに食育コーナーを設けています。会員相互の情報の共有、連携をモットーに会員が講師となって研修会を開催したり、企業見学を行ったりしてスキルアップに努めています。「野菜の魅力」「野菜の魅力パートⅡ」「さかなの魅力」「果物の魅力」の4冊の冊子を発行しました。一貫して野菜を食べようの運動を展開し「がん征圧事業功労感謝状」を受賞しました。今後公益社団法人としての自覚を新たに事業を展開してまいります。



勤労者支援協議会 本多 佳代

勤労者支援協議会は、基本理念である健康日本21（第2次）に基づき、健康な勤労者を増加させ健康寿命延伸の推進に寄与してきました。そして、給食を通して勤労者ポピュレーションの健康増進、生活習慣病予防、職場での食育を展開し取り組んできました。今後の進むべき方向としては、①勤労者の職種別健康教育モデルの確立 ②外食・中食等の食品メーカー、流通産業他、企業との連携による生活習慣病予防体制の確立であります。岡山県栄養士会の指導の下、私たちの目標である「給食管理」の質的向上、専門職としての責務を果し、会員の皆さんの取り組みが、働く人々の健康に寄与し、さらに貢献していくことを願っています。



医療協議会 市川 和子

岡山県栄養士会設立30周年おめでとうございます。私の栄養士生活と同じ時を刻んできていることに感銘いたします。今までの様々な栄養士活動を鑑みる時、私共は医療部門一筋で歩んでまいりましたので、視野が狭くなっていることに今更ながら反省の至りです。「栄養士は健康増進を目指し栄養指導・教育を業とする。」この理念は変わることなく、様々な研修を通じて学んでまいりました。そして、今後はこの実績を基に多職域の栄養士の皆様方とより一層強い絆をもって岡山県栄養士会の更なる飛躍を期待してお喜びの挨拶とさせていただきます。



福祉協議会 森光 大

平成12年に介護保険法が始まり改定が繰り返され、自立支援法が施行され、学校給食基本法が戦後初めて改正され、食育基本法が施行されました。この15年間で福祉関係（高齢者施設・障がい者施設・保育園等）の職域では激変の時代であったと思われます。そんな中、私たちは法改定に合わせて勉強会を開催して参りました。また、連携の時代と言われ始めて病院と病院、病院と施設、病院と在宅、施設と在宅等の間で連携シートも多数開発され、私たちは病院協議会と研修会を共同開催し、連携シートを作成して岡山県栄養士会のホームページにアップし、だれでもダウンロードして使用できるようにしています。人を対象に「食」を介して専門職としてサービスを提供することに施設間で差があってはなりません。病院や施設、在宅に関係なくどこにいても同様のサービスが受けられるようになることを目標に今後も会員の皆さんと努力して参りたいと思います。

受賞歴

栄養改善事業功労

	厚生労働大臣	岡山県知事	岡山県保健福祉部長
平成17年			山本 福子 浮田 通子 田中 智子
平成18年			上田壽美恵 小林 計子 大森 豊子
平成19年		黒田美知子	土居 匡子 森 恵子 中原 啓子 鳴坂美和子
平成20年		小林 計子	茅原佐知子 竹中恵美子
平成21年	黒田美知子 村尾 啓子	森 恵子 山本 福子	
平成22年	小林 計子	浮田 通子 鳴坂美和子 大森 豊子	森植 恵子 橋本 規子
平成23年	森 恵子 山本 福子	土居 匡子 中原 啓子	山本 祥子 安藤 智里 茅切 朝美
平成24年	大森 豊子 浮田 通子	橋本 規子 森植 恵子	伊藤 嘉子
平成25年	土居 匡子 中原 啓子	山本 祥子 茅切 朝美	
平成26年	橋本 規子 森植 恵子	伊藤 嘉子	南 延子

栄養指導業務功労

	厚生労働大臣	岡山県知事	岡山県保健福祉部長
平成17年	嘉数 歳子	渡邊 和子 平林 眞弓	長光喜代香 片山 尚子 川上由起子
平成18年	安東 洋子	小坂 福江	垣本 穂子 神谷美津恵 藤井 悠子
平成19年	中山 敏子	梅林ツヤコ 室山 尚美 土江満智子	辻本美由喜 樋口 資代 福嶋 知子 坂本八千代
平成20年	平林 眞弓	武田 陽子 川上由起子	磯本 信子 谷口 容子 山田津由子 市川 和子
平成21年	河原 和枝 渡邊 和子	長光喜代香 神谷美津恵	日野加壽子 森 美和子 寺尾 幸子 太田 眸
平成22年	竹内ひとみ	藤井 悠子	下山英々子 太田 弘子 小橋 朋子
平成23年	土江満智子 川上由起子		中田なおみ 土居 純子 坂手むつ子
平成24年	藤井 悠子		妹尾富美子 島本 恭子
平成25年		坂本八千代	押柄はや子 上山ひさよ
平成26年		森 美和子 樋口 資代 妹尾富美子	谷 智恵子 八藤 敦子 秋山 恭子

栄養士養成功労

	厚生労働大臣	岡山県知事	岡山県保健福祉部長
平成17年	佐々木敦子	寺本 房子	高 早苗 赤木 玲子
平成18年	藤井 俊子		山下 静江 松枝 秀二
平成19年	寺本 房子	高 早苗	三宅 妙子
平成20年			太郎良裕子 小野 章史
平成21年		山下 静江 辻 英明	和田 治子 島田 義弘
平成22年	山下 静江	太郎良裕子	大野婦美子 佐々木和子
平成23年	辻 英明		菊永 茂司
平成24年		松枝 秀二 木本眞順美	原野 恵子
平成25年	木本眞順美 太郎良裕子	三宅 妙子 菊永 茂司	額田眞喜子 武政 睦子
平成26年	松枝 秀二	小野 章史	中島 伸佳

地域医療事業功労

	厚生労働大臣	岡山県知事	岡山県保健福祉部長
平成17年		河原 和枝	松浦 厚子
平成18年		竹内ひとみ	白石いく子
平成19年		吉田 孝栄	森植 恵子
平成20年		松浦 厚子	笹埜三世里
平成21年		山本 明美	妹尾富美子
平成22年		笹埜三世里	岡 悦子

その他

- 日本栄養士会 栄養改善奨励賞 難波 三郎（平成17年）
- 日本栄養士会 栄養改善奨励賞 功労賞 鳴坂美和子（平成23年）
- 日本栄養士会 法人設立50周年特別表彰（特別功績表彰） 橋本 規子（平成21年）
- 日本栄養士会 法人設立50周年特別表彰（会長特別表彰） 道下美智子 家守美智子 斎藤美加子
- がん制圧事業功労 日本対がん協会岡山県支部長 鳴坂美和子 有元 祥三 古川 孝子
- 栄養改善奨励賞（森川賞） 内藤 治子 児島 明子 木村 和子
- 福田道子賞 寺尾 幸子 福田 佳子（平成21年）
- 木山 静栄（平成17年）
- 森光 大（平成21年）
- 松本 義信・石井 恭子（平成22年）
- 辻本美由喜・人見 典恵（平成23年）
- 多田ルミ恵・山口 享子（平成24年）
- 原田 恵子・島本 恭子（平成25年）
- 岡山県健康づくり財団がん征圧事業功労感謝状 地域活動協議会（平成25年）
- 第24回重症心身障害者療育学会読売療育賞最優秀賞 旭川療育医療センター旭川児童院（平成25年）

事務局だより

平成26年度理事会報告

1. 平成26年5月31日

承認事項

- 1) 代表理事、業務執行理事等を選任
・代表理事：森 恵子、業務執行理事：竹内ひとみ
・副会長：河原和枝、寺尾幸子、橋本恭子
・常任理事：会長、副会長、専務理事、横尾幸子、矢吹邦子、本多佳代、坂本八千代

審議事項

- 1) 平成26年度定時総会反省
- 2) 平成26年度会務分掌・事業について
- 3) 会員増対策

2. 平成26年6月28日

承認事項

- 1) 新入会員・再入会員64名を承認する

審議事項

- 1) 定款変更（総会開催時期、支部編成と協議会の名称変更、基本財産）
- 2) 平成26年事業について
・岡山栄養ケア・ステーション事業
・会員増対策
・生涯教育研修会
- 3) 理事役割分担

報告事項

- 1) 研修、30周年記念事業

3. 平成26年10月30日

承認事項

- 1) 新入会員・再入会員39名を承認する
- 2) 会長、専務理事業務執行状況承認

審議事項

- 1) 30周年記念事業

- 2) 陳情
報告事項
1) 地域連携推進担当理事より
2) 支部の在り方検討担当理事より

事務局
年末年始の休みは、
12月27日(土)～
1月4日(日)です。





免疫強化

セカンドミール効果

祝 岡山県栄養士会法人設立 30 周年

岡山県産モチムギ

生活習慣病 予防

食べることは生きること
明るい未来のこどもたちの健康サポート

もちむぎ料理教室から災害時非常食、減災等まで
どうぞお気軽にご相談ください。

(株) フーズMH
担当：備蓄食アドバイザー
本多佳代

TEL: 086-253-1991
FAX: 086-253-1992



(株)フーズMH

30周年記念事業を終了して

平成26年11月15日(土)ホテルグランヴィア岡山4階フェニックス会場において、公益社団法人岡山県栄養士会法人設立30周年記念式典・祝賀会が総勢321名の参加により盛大に挙行されました。式典では、31名という大勢のご来賓の方々と20年以上に渡り栄養士会の発展を力強く支えてくださいました賛助会員の方々、50年以上に渡り栄養士会にご貢献頂きました感謝状受賞の方々など、総勢55名の方々が壇上に並べられた式典は圧巻でした。今後の栄養士会の発展に大いなる力を頂きました。

振り返って見ますと第1回の30周年記念事業委員会を平成24年3月13日(火)に開催して2年と8カ月が経過していました。一人でも多くの会員に参加して欲しい、そして県民の皆様にも栄養士会の活動を広く知ってもらうきっかけ作りにもしたいというコンセプトで企画を練ってまいりました。講演会をセットにすることが会員の参加に繋がるのではと考え、北折一氏に記念講演を依頼しました。岡山県栄養士会は平成24年4月から、公益社団法人となりました。活動を活発にするための「のぼり旗」を30周年事業の一環として作成することになり、「キャッチフレーズ」を応募しました。式典当日も、会場において翻りご来賓の方々にも紹介することができました。この時、活動内容がわかるパネルも作成しました。このパネルを使って、活動内容のスライドを祝賀会において流しました。所属以外の協議会、支部活動が伝わり参考になれば幸いです。厳しい予算をやりくりして頂き、参加会員の皆様に「手ばかり目ばかり」の指導媒体を記念品として配布することができました。栄養指導時にご利用ください。

祝賀会においては、日常の喧騒とした日々を忘れさせるシャンソンの歌声に耳を傾けました。

フィナーレでは、「やさい王国」のダンスで参加者全員が一体となって盛り上がりしました。

準備くださった役員、会員の皆様方のご協力のお陰で、盛会裏に終了することができました。ここに深く感謝申し上げます。

30周年記念事業実行委員長 榎尾 幸子



秋山 恭子	伊藤 嘉子	浮田 通子	片山富佐子	川上由起子
衣笠 仁子	竹内ひとみ	富岡加代子	原田 恵子	福田 佳子
福吉さち子	藤井 悠子	本多 佳代	榎尾 幸子	松浦 宏美
松本 義信	三村由美子	村上 淳	森光 大	渡邊 寛子

編集後記

法人設立30周年の節目にあたり、『なかも』法人設立30周年記念号』発行の運びとなりました。皆様のご協力のもと、盛りだくさんの内容になったものと思います。法人設立30周年記念事業として、各支部における「健康フェア」を運営してくださった会員の皆様、原稿をお寄せ頂いた方々、そして、この記念行事の計画・立案・実行に携わってくださった皆様方に感謝申し上げます。

本会は昭和21年に産声をあげ、昭和59年に法人化されました。この長い年月諸先輩の方々に導かれ、そして築いてきた栄養士業務の仕事を、しっかりと後世へ繋いでいかなければと、改めて感じています。会員一人一人助け合って、これからも邁進していきましょう。

不備な点が多々あるかは存じますが、保存版としてお手元に置いて頂けると光栄です。

なかも編集委員 橋本 恭子



平成25年度

国府 紀子	小山 洋子	笹埜三世里	高木 陽子
竹内ひとみ	寺尾 幸子	藤井奈緒美	本多 佳代

平成26年度

大神 理恵	小山 洋子	笹埜三世里	下田 裕恵
寺尾 幸子	橋本 恭子	本多 佳代	森上真由美

☆機関紙「なかも」第122号訂正について

5 ページ平成26年度理事紹介記事を訂正しお詫び申し上げます。

勝英支部長・安東雅美→勝英支部理事・安東雅美 勝英支部長は伊藤淳枝さんです。

行政書士川口法務事務所

所長 川口 隆志

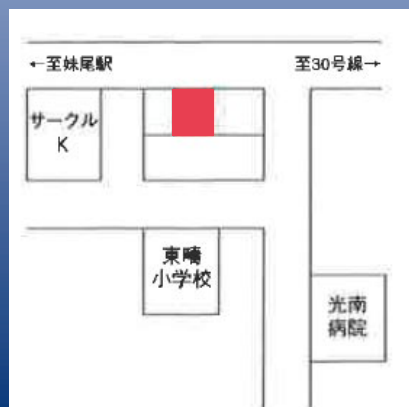
各種申請書類作成・手続代理

- ・ 高齢者・障害者支援
- ・ 在留外国人支援
- ・ 著作権ビジネス活用支援
- ・ 業務管理運営支援
- ・ その他

〒701-0221

岡山市南区藤田 579-20

TEL 086-296-0113 / Fax 086-296-0185



グラシア

新商品
メラミンウェア

おしゃれで
気どり過ぎない、
各々の器が使いやすいさと
デザイン性を兼ね備え
心踊る食の時間を演出します。



あんしんを約束 おいしいを演出

Actys
Group

Sanshin



最新情報はホームページをご覧ください
<http://www.sanshin-kako.co.jp>

三信化工株式会社 大阪支店

大阪市西区西本町1-15-6 西本町ビル

☎ 06(6534)8077 FAX 06(6534)8078

SERENO



ぐっすりが、
いちばんのぐすり。



TUK 東洋羽毛中四国販売株式会社 岡山営業所 ☎ 0120-224711 〒700-0845 岡山県岡山市南区浜野 4-3-37

AsahiKASEI



口当たりすっきり 後味さっぱり

飲みやすいLightな仕上りの栄養飲料です。



アセロラ風味



ゆず風味



ミックスフルーツ風味



ストロベリー風味

1パックで
エネルギー160kcalを
摂取できます。

鉄、亜鉛を補給できます。
1パック中に鉄・亜鉛を
推奨量の約1/3含みます。

1パックで
たんぱく質8.0gを
摂取できます。

水溶性ビタミン(7種)を
補給できます。

旭化成ファーマ株式会社 医薬営業本部 ヘルスケア製品部 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 TEL:03(3296)3675 www.asahi-kasei.co.jp/h-care/

宅配開始

お医者さん、
栄養士さんから
食事制限の指示が
でている方へ



株式会社 誠屋

岡山市北区大内田717-3

TEL 086-292-5000 FAX 0120-225134

ホームページ <http://www.makotoya.co.jp>

全国病院用食材卸売業協同組合

腎臓病・肝臓病・心臓病・糖尿病など
『生活習慣病』が気になる方、
介護食にお悩みの方および非常食の
必要な方

220 以上の教育機関に 10,000 ライセンス以上の導入実績。

栄養価計算ソフトで ICT 教育を応援します！

学割 スチューデントエディション

学生さん必見！ ヘルシーメーカーシリーズを学生さん限定で特別価格にてお求めいただけます。



ヘルシーメーカープロ501
栄養指導編

16,000 円 (税別)

献立・運動・体重管理を備えた栄養指導ソフト。栄養ケア帳票も対応。



ヘルシーメーカープロ501
献立分析編

16,000 円 (税別)

献立作成・献立分析専門の栄養価計算。応用範囲が多様な業務に対応。



ヘルシーメーカープロ501
スイート 1ライセンス版

23,000 円 (税別)

栄養指導編・献立分析編・1800kcalヘルシーレシピのセット版。



給食帳票ツール

6,000 円 (税別)

献立分析編と組み合わせて給食管理。各種帳票を取り揃えました。



ヘルシーメーカー 432

6,000 円 (税別)

個人向け栄養価計算ソフトのベストセラー。

学校教室向け一括導入

実績も多数あります。

学生向け説明会も承ります。

詳しくはお問い合わせください。

学生向け個人販売



学生向け一括販売



校内パソコンへの一括導入



一括購入後の説明会



一括導入後の説明会



対象 18 歳以上の学生の方 (大学、短期大学、専門学校、大学院等の栄養士課程の学生に限る)

※教職員の方はスチューデントエディション対象外となります。

●資料・無料体験版CD・デモなどのお問い合わせはこちら
フリーダイヤル
平日9:00~18:00 0120-979-840

●最新情報をチェック！

<http://www.msrsoft.com>

●ご購入はマッシュルームソフト・ストアで



株式会社

マッシュルームソフト

〒700-0907 岡山市北区下石井2-1-18 ORIXビル6F
TEL(086)221-2400 平日9:00~18:00 / FAX(086)221-2401
東京出張所 〒113-0033 東京都文京区本郷3-4-7-702
TEL(03)5802-7185 / FAX(03)5802-7186